# 令和５年度　第６回理事会

日　時：令和５年９月８日（金）１５：３０～

場　所：森林総合研究所（つくば市）特別会議室（Ｗｅｂ会議併用）

## Ⅰ．報　告

１．令和６年度　森林研究・整備機構関係予算概算要求の概要について［総合調整室］

２．令和５年度　研究・育種部門における研究職員の採用について（非公表）［企画部長］

３．第 46 回全国育樹祭への協力について（報告）（一部非公表）［企画部長］

４．林木育種センターにおける一般職員（大卒程度）の採用について（非公表）
［林木育種センター］

５．令和５年度第１回森林保険センター統合リスク管理委員会審議概要（非公表）
［森林保険センター］

## Ⅱ．その他

１．今後の主な会議・行事予定について

２．主要行事

３．森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

Ⅰ－1

理 事 会 資 料
令和５年９月８日
総 合 調 整 室

# 令和６年度
# 森林研究・整備機構関係予算概算要求の概要について

# 令和6年度　林野庁関係予算概算要求の概要

令和5年8月

| 区　　分 | 令和5年度<br>当初予算額 | 令和6年度<br>概算要求額 | 対前年度比 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 公共事業費 | 197,939 | 235,003 | 118.7 |
| 一般公共事業費 | 187,540 | 224,604 | 119.8 |
| 治山事業費 | 62,291 | 74,602 | 119.8 |
| 森林整備事業費 | 125,249 | 150,002 | 119.8 |
| 災害復旧等事業費 | 10,399 | 10,399 | 100.0 |
| 非公共事業費 | 107,728 | 120,709 | 112.0 |
| 合　　計 | 305,667 | 355,712 | 116.4 |

（注）1 上記のほか、農山漁村地域整備交付金の中で、林野関係事業を措置している。

2 金額は、関係ベース。

3 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

※ 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に係る経費、「総合的なTPP等関連政策大綱」を踏まえた農林水産分野における経費、「食料安全保障強化政策大綱」を踏まえた食料安全保障の強化に向けた対応に係る経費については、予算編成過程で検討。

# 令和６年度林野関係予算概算要求の重点事項

総額３，５５７億円
（３，０５７億円）

（※）各事項の下段（　）内は、令和５年度当初予算

## 新たな花粉症対策の展開と森林・林業・木材産業によるグリーン成長

### ①　花粉削減・グリーン成長総合対策

２２２億円
（１６１億円）

・30 年後の花粉発生量の半減に向けてスギ人工林の伐採・植替え等の花粉発生源対策に加え、カーボンニュートラル等の実現に向けて川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に支援する交付金を創設する等の取組を推進

#### ア　新たな花粉症対策の展開

・森林所有者への協力金を通じた伐採・植替えの促進、横架材のスギ材への置換えに資する集成材工場の整備、建築事業者によるスギＪＡＳ構造材の利用拡大、官民を挙げた花粉の少ない苗木の増産、木材加工業者による高性能林業機械の導入、他産業との連携による労働力確保、スギ花粉の飛散防止剤の早期実用化等の取組を支援

#### イ　林業・木材産業の生産基盤強化

・路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐の実施、再造林の低コスト化、エリートツリーの安定供給とともに、木材加工流通施設の整備、特用林産振興施設の整備等の推進に向けた取組を支援

#### ウ　林業のデジタル化・イノベーションの推進

・林業機械の自動化・遠隔操作化や木質系新素材の開発・実証、森林資源情報のデジタル化、新技術を活用する高度技能者の育成、地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する戦略拠点の構築等を支援

#### エ　建築用木材供給・利用の強化

・木質耐火部材やＪＡＳ構造材の建築物への利用実証・普及、大径材活用に向けた技術開発、ＪＡＳ製材のサプライチェーンの構築に向けた中小工務店と製材工場のマッチング、製材やＣＬＴを用いた建築物の低コスト化に向けた技術開発や設計・建築実証等を支援

### オ　木材需要の創出・輸出力の強化

・非住宅建築物における木材利用の促進、工務店の技術サポート、木材製品の輸出促進、合法性確認の取組などの合法伐採木材の利用促進、木質バイオマスを活用した「地域内エコシステム」の展開、国産特用林産物の需要拡大等を支援

### カ　林業の担い手の育成・確保

・「緑の雇用」事業による新規就業者への体系的な研修、就業前の青年への給付金支給、高校生の林業体験学習や女性の活躍促進、森林プランナーの育成、林業経営体の安全診断などの労働安全対策、森林経営管理制度を担う技術者の能力向上等の取組を支援

### キ　「新しい林業」の経営モデルの構築

・伐採から再造林・保育に至る収支をプラス転換する「新しい林業」の実現に向け、新たな技術の導入による経営モデルの構築等を支援

### ク　意欲と能力のある経営者への融資の円滑化

・意欲と能力のある林業経営者が行う機械導入・施設整備に対する融資の円滑化を支援

### ケ　山村の活性化

・地域の活動組織や都市部との連携による里山林の保全管理や利用、国民参加の植樹の推進、新たな森林コンテンツの制作・普及に向けた取組、森林由来Ｊ－クレジット創出・活用に向けた取組等を推進

② 森林整備事業＜公共＞ １，５００億円
（１，２５２億円）

・花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植替え等を推進するとともに、森林吸収源の機能強化・国土強靱化に向けて、間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等を着実に推進

③ 治山事業＜公共＞ ７４６億円
（６２３億円）

・豪雨・地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、流木対策や機能強化対策の充実、流域治水との連携拡大など、国土強靱化に向けた取組等を推進

④ 農山漁村地域整備交付金＜公共＞（再掲） ９２１億円
（７７４億円）

・地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付

# 参考資料


○　花粉削減・グリーン成長総合対策・・・・・・・・・・・・・１

　ー新たな花粉症対策の展開・・・・・・・・・・・・・・・・・２

　ー林業・木材産業の生産基盤強化・・・・・・・・・・・・・・３

　ー林業のデジタル化・イノベーションの推進・・・・・・・・４

　ー建築用木材供給・利用の強化・・・・・・・・・・・・・・・５

　ー木材需要の創出・輸出力の強化・・・・・・・・・・・・・・６

　ー林業の担い手の育成・確保・・・・・・・・・・・・・・・・７

　ー「新しい林業」の経営モデルの構築・・・・・・・・・・・・８

　ー意欲と能力のある経営者への融資の円滑化・・・・・・・・９

　ー山村の活性化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

○　森林整備事業＜公共＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

○　治山事業＜公共＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

○　農山漁村地域整備交付金＜公共＞・・・・・・・・・・・・・13

# 花粉削減・グリーン成長総合対策

【令和６年度予算概算要求額　22,150（16,143）百万円】

**＜対策のポイント＞**

**新たな花粉症対策**に加え、**カーボンニュートラル等の実現に向けて川上から川下までの森林・林業・木材産業政策**を**総合的に支援する交付金を創設**する等の取組を推進します。

**＜政策目標＞**

○国産材の供給・利用量の増加（34百万m³［令和３年］→ 42百万m³［令和12年まで］）
○スギ花粉の発生量の削減（令和２年度比　約２割削減［令和15年まで］、５割削減［令和35年まで］）

## ＜事業の全体像＞

### 花粉削減・グリーン成長総合対策の全体像

#### 新たな花粉症対策の展開

**１．スギ人工林の伐採・植替え等の加速化**

・意欲ある林業経営体に森林管理を委託する**所有者への協力金**の創設
（※）森林整備事業においてもスギ人工林の伐採・植替えを推進

**２．スギ材の需要拡大**

・横架材のスギ材への置換えに資する**集成材工場・製品保管庫**等の整備を支援
・**建築事業者**による**スギJAS構造材の利用**を支援
・スギ材の需要拡大に向けた**国民運動を促進**する取組を支援

**３．花粉の少ない苗木の生産拡大**

・原種苗木の生産施設、採種・採穂園、コンテナ苗生産施設の**増設**を支援
・**細胞増殖技術**を活用した花粉の少ない苗木の**大量増産技術**の開発を支援
・花粉の少ない苗木の**広域流通**を支援

**４．林業の生産性向上及び労働力の確保**

・**木材加工業者等**が行う伐採に必要な**高性能林業機械**の導入を支援
・**他産業との連携、外国人材等の新規就業者の育成**を支援

**５．花粉飛散量の予測・飛散防止**

・花粉着花量調査の**対象都道府県及び調査地点の拡大**
・飛散防止剤の早期実用化に向けた現場での**実証試験・環境影響調査**を支援

等

＋

#### 国産材の安定供給に向けた生産基盤強化等

**１．林業・木材産業の生産基盤強化**

・搬出間伐、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入を支援
・製材・合板工場、木造公共建築物の整備を支援
・木質バイオマス利用促進施設、特用林産振興施設の整備を支援

**２．林業のデジタル化・イノベーションの推進**

・林業機械の自動化・遠隔操作化、木質系新素材の開発・実証を支援

**３．建築用木材供給・利用の強化**

・都市部における建築用木材の利用実証、CLT建築物の設計・建築実証を支援

**４．木材需要の創出・輸出力の強化**

・木の効果の見える化や木材製品の輸出促進を支援
・「地域内エコシステム」の展開、特用林産物の需要拡大を支援

**５．林業の担い手の育成・確保**

・新規就業者への体系的な研修、就業前の青年への給付、林業経営体の労働安全対策を支援

**６．「新しい林業」の経営モデルの構築**

・伐採から再造林・保育に至る収支がプラスとなる経営モデルの構築を支援

**７．意欲と能力のある経営者への融資の円滑化**

・林業経営者が行う機械導入・施設整備に対する融資の実質無利子化を支援

**８．山村の活性化**

・地域住民や地域外関係者による森林の保全管理を支援

等

花粉削減・グリーン成長総合対策のうち

# 新たな花粉症対策の展開

【令和６年度予算概算要求額　22,150（16,143）百万円の内数】

**＜対策のポイント＞**

**スギ人工林の伐採・植替え等の加速化**や**スギ材の需要拡大**、**花粉の少ない苗木の生産拡大**、**林業の生産性向上及び労働力の確保**、**花粉の飛散量の予測**、**花粉飛散防止剤の早期実用化**への支援等を一体的に実施する総合的な花粉症対策を進めます。

**＜事業目標＞**

○ スギ苗木の年間生産量に占める花粉の少ない苗木の割合の増加　（約５割［令和３年度］　→　　９割以上［令和15年度まで］）
○ スギ花粉の発生量の削減（令和２年度比　約２割削減［令和15年度まで］、５割削減［令和35年度まで］）

## ＜事業の内容＞

**１．スギ人工林の伐採・植替え等の加速化**

花粉の少ない苗木への伐採・植替えに係る**森林所有者への普及啓発の実施**・**協力金**の交付、伐採・植替えに寄与する路網整備や伐採・植替えの一貫作業の導入等を支援します。

**２．スギ材の需要拡大**

横架材のスギ材への置換えに資する**集成材工場の整備**、**建築事業者によるスギ材の利用**、**スギ材の需要拡大**に向けた**国民運動**を促進する取組等を支援します。

**３．花粉の少ない苗木の生産拡大**

**官民を挙げた苗木増産体制の強化**、**細胞増殖技術**を活用した**苗木大量増産技術**の開発、花粉の少ない苗木の**広域流通**等を支援します。

**４．林業の生産性向上及び労働力の確保**

**木材加工業者**による**高性能林業機械の導入**による**生産性向上**や、農業等**他産業との連携や外国人材の新規就業者の育成・確保**、**伐採や造林への新規参入**等を支援します。

**５．花粉飛散量の予測・飛散防止**

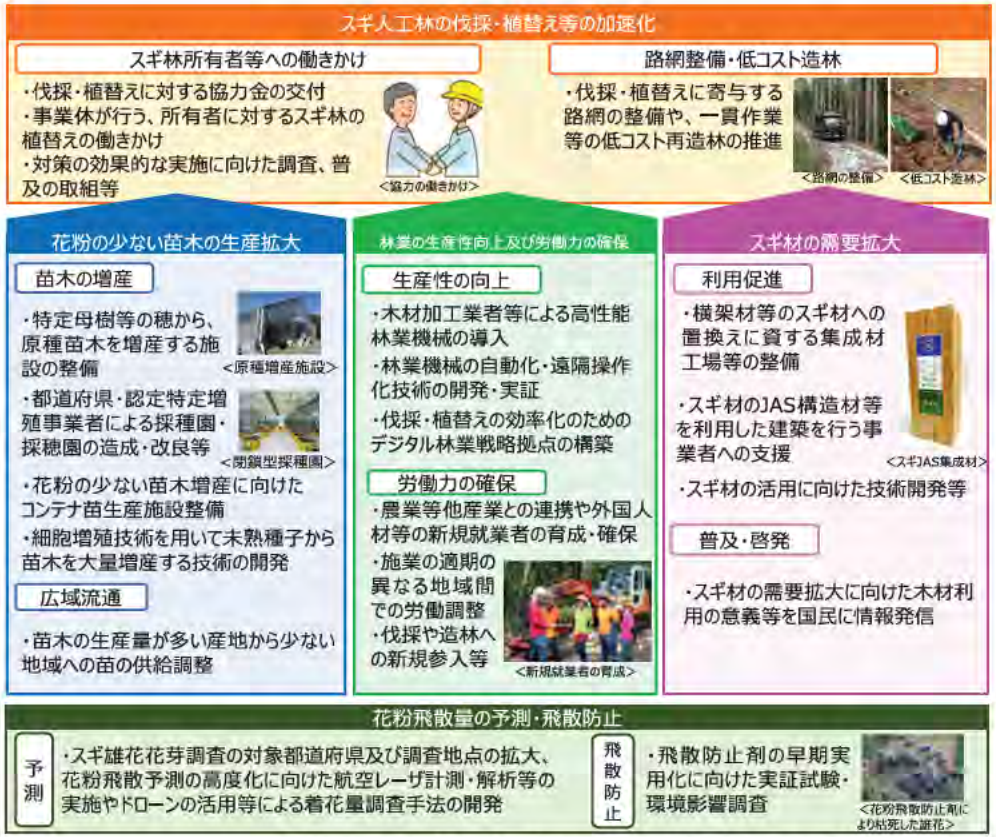
**花粉飛散予測に資するスギ雄花花芽調査**や手法の開発、航空レーザ計測・解析の実施、**花粉飛散防止剤の空中散布技術**の確立等を支援します。

**＜事業の流れ＞**

国
- 定額、1/2 → 民間団体等（国立研究開発法人森林研究・整備機構含む）（１～５の事業の一部）
- 定額、1/2 → 都道府県（３、５の事業の一部）
- 定額、1/2等 → 都道府県等（林業労働力確保支援センター含む）→ 定額、1/2等 → 民間団体等（市町村含む）（１～４の事業の一部）

※　国有林においては、直轄で実施

## ＜事業イメージ＞




［お問い合わせ先］林野庁計画課（03-6744-2082）

花粉削減・グリーン成長総合対策のうち

# 林業・木材産業の生産基盤強化

【令和６年度予算概算要求額 22,150（16,143）百万円の内数】

**＜対策のポイント＞**

**路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐の実施、再造林の低コスト化、エリートツリー等苗木の安定供給**とともに、**木材加工流通施設、特用林産振興施設の整備等**の川上から川下までの取組を総合的に支援します。

**＜事業目標＞**

○ 国産材の供給・利用量の増加（34百万m³［令和３年］→42百万m³［令和12年まで］）

## ＜事業の内容＞

**1. 林業・木材産業生産基盤強化対策**

**路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐**のほか、**木材加工流通施設、特用林産振興施設、木質バイオマス利用促進施設、木造公共建築物の整備**や、**森林境界の明確化**等を支援します。

**2. 再造林低コスト化促進対策**

再造林に係る低コスト化を進めるため、**低密度植栽等の低コスト造林**や**エリートツリー等のコンテナ苗の増産に向けた施設整備**等を支援します。さらに、**再造林に向けた川上から川下まで一体となった取組**を支援します。

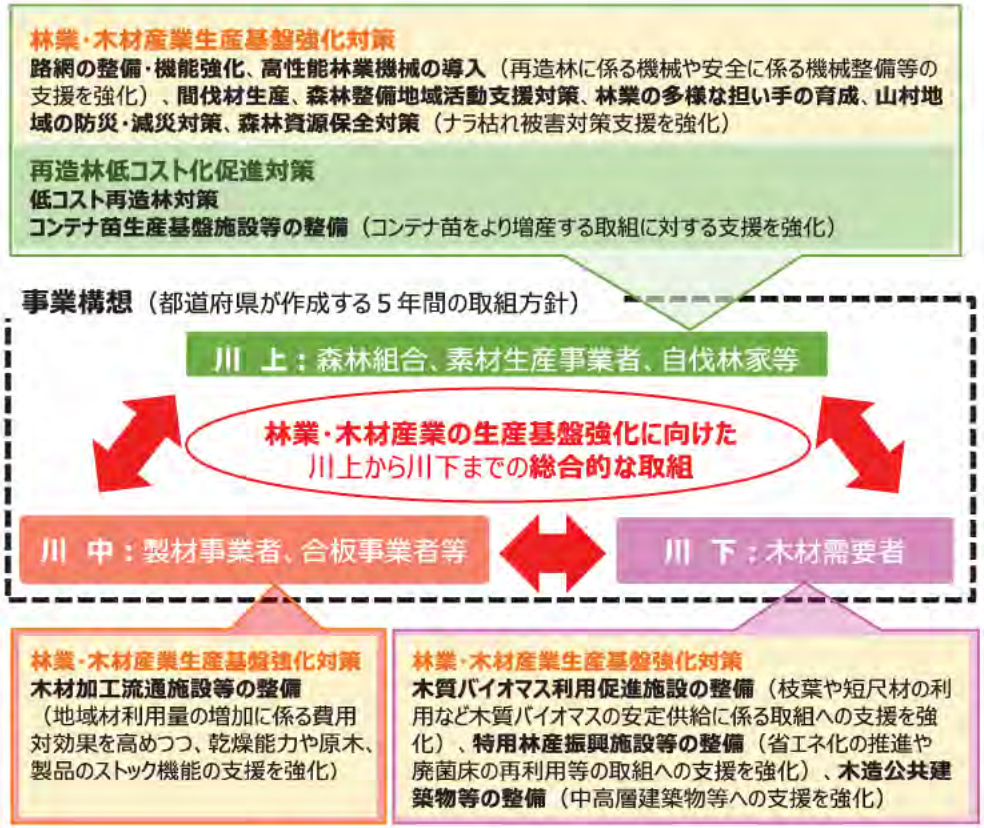
**＜事業の流れ＞**

定額（1/2、1/3以内等）等　　定額（1/2、1/3以内等）等

国 → 都道府県 → 林業経営体等

※ 国有林においては、直轄で実施

## ＜事業イメージ＞




［お問い合わせ先］林野庁計画課（03-6744-2082）

花粉削減・グリーン成長総合対策のうち

# 林業のデジタル化・イノベーションの推進　【令和６年度予算概算要求額　22,150（16,143）百万円の内数】

**＜対策のポイント＞**

**林業イノベーションプラットフォームの構築・運営、林業機械の自動化・遠隔操作化、木質系新素材等の開発・実証、森林資源情報のデジタル化**、木材生産高度**技術者の育成、「デジタル林業戦略拠点」の構築**等を支援します。

**＜事業目標＞**

○　自動化等の機能を持った高性能林業機械等の実用化（８件［令和７年度まで］）
○　デジタル技術を地域全体でフル活用する取組が普及（デジタル林業戦略拠点が１つ以上ある都道府県数25［令和12年度まで］）

## ＜事業の内容＞

**１．林業イノベーションハブ構築事業**
国がイノベーションの推進に向けた支援プラットフォーム構築・運営等を実施します。

**２．戦略的技術開発・実証事業**
林業機械の自動化、木質系新素材等の開発・実証を支援します。

**３．森林資源デジタル化推進対策**
**①　森林資源デジタル管理推進対策**
レーザ計測等による森林資源情報のデジタル化等を支援します。
**②　森林情報プラットフォーム化推進事業**
全国の森林情報を閲覧・取得できるデータプラットフォームの構築等を検討します。
**③　林野火災発生リスク評価対策**
林野火災発生危険度予測システムの構築と普及方策の検討を実施します。

**４．木材生産高度技術者育成対策**
ICT等先進技術を活用する技術者や現場技能者の育成等を実施します。

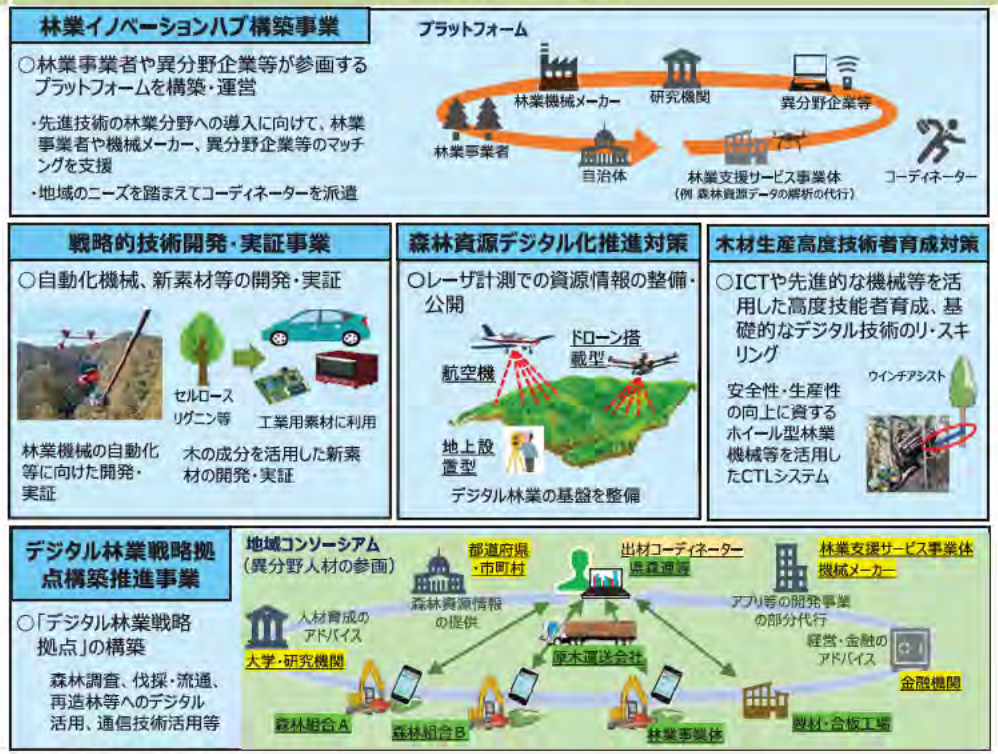
**５．デジタル林業戦略拠点構築推進事業**
地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する拠点づくりを支援します。

**＜事業の流れ＞**

国
- 定額、1/2 → 都道府県（３①の事業の一部）
- 定額、1/2 → 都道府県 → 定額、1/2 → 市町村 → 民間団体等（３①の事業の一部）
- 委託、定額、1/2 → 民間団体等 / 地域コンソーシアム（１、２、３②③、４、５の事業）

※国有林においては、直轄で実施

## ＜事業イメージ＞




［お問い合わせ先］
（１、２、３③、４、５の事業）　林野庁研究指導課（03-3501-5025）
（３①②の事業）　計画課（03-6744-2339）

花粉削減・グリーン成長総合対策のうち

# 建築用木材供給・利用の強化

【令和６年度予算概算要求額　22,150（16,143）百万円の内数】

**＜対策のポイント＞**

森林経営の持続性を担保しつつ、**サプライチェーンの強化**や建築用木材の利用実証・普及等の**都市の木造化等促進**、製材やCLT・LVLの技術開発・普及等を通じた**建築物への利用環境整備**による安定需要拡大を支援します。

**＜事業目標＞**

○　国産材の供給・利用量の増加（34百万m³［令和３年］→ 42百万m³［令和12年まで］）

## ＜事業の内容＞

**１．森林を活かす都市の木造化等促進総合対策事業**

① 中層建築物に重点を置いた**建築用木材(木質耐火部材、JAS構造材等)の利用実証**、改正建築基準法等に対応した**強度や耐火性に優れた建築用木材に係る技術の開発・普及**を支援します※１。

② **円滑な木材供給のための環境整備**に向け、川上から川下までが連携した**木材安定供給体制の構築**や、**JAS製材サプライチェーン構築**に向けた中小工務店と製材工場のマッチング、電気代高騰に対応した**省エネ設備**の**リース導入**等を支援します。

**２．CLT・LVL等の建築物への利用環境整備事業**

① CLTの普及に向け、**寸法の標準化に係る設計・建築の実証**等※１を支援します。

② 中高層・非住宅建築物へのCLT・LVLや製材等の利用に向け、**標準的な木造化モデルの作成や低コストな接合金物の開発**等を支援します。

③ **大径材等の活用に向けた設計手法や効率的な加工技術の開発・普及**を支援します。

④ **CLT建築物等の設計者・施工者の育成**への支援や**BIM※２を活用した設計・施工手法等の標準化に向けた検討**、森林・林業の持続可能性を求める国際的な動きに対応した**木材供給に向けたガイダンスの検討**を実施します。

※１ 都市（まち）の木造化推進法に基づく協定締結者を優先的に支援
※２ BIM(Building Information Modeling)…コンピュータ上で部材の仕様等の様々な属性情報を併せ持つ３次元の建築物のモデルを構築するシステム

**＜事業の流れ＞**

国 →（委託）→ 民間団体等
（１、２の事業の一部）

国 →（定額）→ 民間団体等 →（事業費の定額、2/3、1/2、3/10、1/10）→ 民間団体等
国 →（定額）→ 民間団体等

## ＜事業イメージ＞

森林を活かす都市の木造化等促進総合対策

都市部における建築用木材の利用実証

強度や耐火性に優れた建築用木材の技術開発

川上・川中・川下関係者による顔の見える木材安定供給体制構築

JAS製材の需給マッチング

CLT・LVL等の建築物への利用環境整備

CLTを活用した先駆的な建築物の実証

CLT・LVL等の利用に向けた技術開発

木造建築物のBIMモデル

［お問い合わせ先］林野庁木材産業課（03-3502-8062）

花粉削減・グリーン成長総合対策のうち

# 木材需要の創出・輸出力の強化

【令和６年度予算概算要求額　22,150（16,143）百万円の内数】

**＜対策のポイント＞**

**非住宅建築物等における木材利用促進や木質バイオマスの利用環境整備、木材製品の輸出の促進、特用林産物の競争力強化等**による**木材需要の拡大を支援**するとともに、**合法伐採木材等の流通及び利用の促進を図るための支援等**を行います。

**＜事業目標＞**

国産材の供給・利用量の増加（34百万m³［令和３年］→42百万m³［令和12年まで］）

## ＜事業の内容＞

**1．非住宅建築物等木材利用促進事業**

**木の効果の見える化**や、非住宅建築物の**木造化に係る維持管理・コストに関する情報発信**、都市（まち）の木造化推進**法に基づく協定締結者に対する相談窓口の体制強化**等を支援します。

**2．木質バイオマス利用環境整備事業**

**林地残材の活用を更に促進するための効率的な収集作業システムの開発・実証、「地域内エコシステム」の普及に向けた取組**等を支援します。

**3．木材製品輸出拡大実行戦略推進事業**

産地協議会の設置やセミナー開催等による**木材輸出産地の育成**、輸出拡大の意向のある木材事業者に対する**専門家による助言**を行う取組、海外での**木造技術講習会の開催等**を支援します。

**4．「クリーンウッド」実施支援事業**

**事業者による合法性確認の取組や普及啓発**の支援、**合法性確認人材の養成、違法伐採関連情報等の提供等**を実施します。

**5．国産特用林産物の国際競争力強化・生産性向上対策事業**

特用林産物の生産性向上等に取り組む**生産者のモデル的取組、おが粉等の需給動向の把握、輸出先国のニーズ・制度等の情報収集、輸入きのこに係る簡易DNA鑑定技術の開発・実証**等を支援します。

## ＜事業イメージ＞

輸出先国における技術者を育成するため海外での講習会等を支援

木材関連事業者に対する研修を実施

林地残材の効率的な収集作業システムの開発・実証等を支援

地域内エコシステムのモデル構築や横展開の取組を支援

ICT機器設置による生産性向上

おが粉の需給動向の把握

輸出先国の情報収集

**＜事業の流れ＞**

国 →（定額、委託）→ 民間団体等

［お問い合わせ先］　（１～４の事業）　林野庁木材利用課（03-6744-2120）
（５の事業）　経営課　（03-3502-8059）

花粉削減・グリーン成長総合対策のうち

# 林業の担い手の育成・確保

【令和６年度予算概算要求額　22,150 （ 16,143 ）百万円の内数】

<対策のポイント>

**新規就業者**等への**体系的な研修、就業前の青年**への**給付金支給、高校生の就業**や**女性の活躍の促進、森林プランナーの育成、技能評価の仕組みの創設、労働安全対策、森林経営管理制度を担う技術者の能力向上**等の取組を推進します。

<事業目標>

○ 新規就業者の確保（1,200人［令和６年度］）○ 認定森林施業プランナーの育成（現役人数3,500人［令和12年度まで］）
○ 労働安全の向上(死傷年千人率５割削減［令和12年まで］)
○ 森林経営管理制度の支援を行える技術者の能力向上(1,200人［令和10年度まで］)

## <事業の内容>

**1．森林・林業担い手育成対策**

① **「緑の雇用」担い手確保支援事業**
**新規就業者**が安全で効率的な作業を習得するための**体系的な研修**、現場を管理し若手の育成を担う**現場技能者のキャリアアップ研修**等に必要な経費を支援します。

② **緑の青年就業準備給付金事業**
**林業大学校等**において、林業への就業に必要な知識・技術等の習得を促進し、将来的に**林業経営も担い得る有望な人材として期待される青年**を支援します。

③ **未来の林業を支える林業後継者養成事業**
**高校生を対象とする林業への就業促進活動**、林業グループや女性林業者の活動等を支援します。

④ **林業に関する技能評価推進対策**
林業に関する**技能評価の仕組みの創設**に必要な経費を支援します。

⑤ **森林プランナー育成対策**
施業集約化に向けた合意形成や木材の有利販売に取り組む**森林プランナーの育成に向けた取組を支援**し、林業経営体の経営力の向上を図ります。

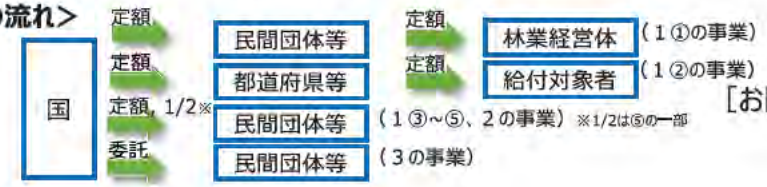
**2．林業労働安全強化対策**

死傷年千人率の半減に向け、労働災害の多い伐採作業の労働災害を未然に防止するため、**安全診断、研修の実施、作業安全規範等の普及**の取組を支援します。

**3．「森林経営管理制度」課題解決促進事業**

市町村を支援する**技術者の能力向上研修**の実施や、**所有者不明森林**や**境界明確化**の**事例を収集・分析**し、横展開を図ります。

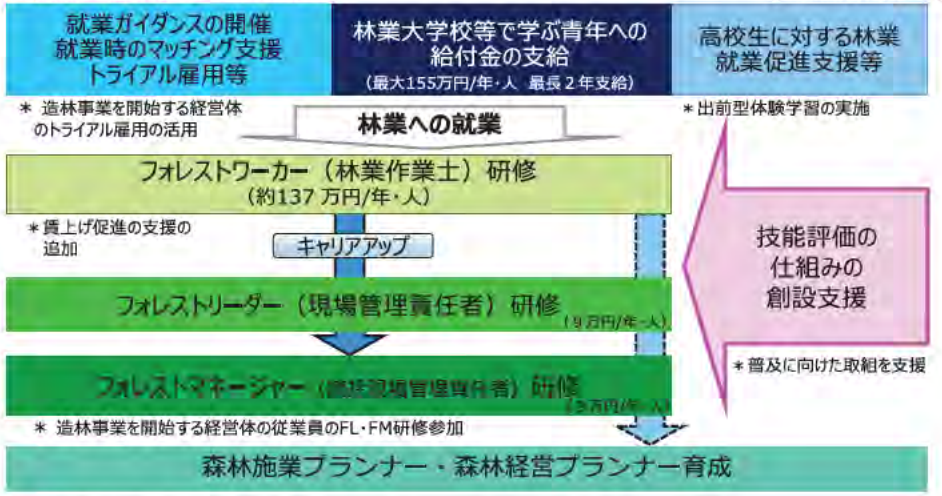
<事業の流れ>




## <事業イメージ>

**1．森林・林業担い手育成対策**

［＊は主な拡充事項］




**2．林業労働安全強化対策**

安全診断、伐採研修、作業安全規範等の普及　＊伐採研修に技術指導スキルを習得させる研修を追加

**3．「森林経営管理制度」課題解決促進事業**

市町村を支援する技術者の能力向上
所有者不明森林や境界明確化の事例を収集・分析し、市町村等に提供
→ 地域の森林・林業行政の支援体制を構築

［お問い合わせ先］（１①、②、④、⑤、２の事業）林野庁経営課　（03-3502-1629）
（１③の事業）研究指導課（03-3502-5721）
（３の事業）森林利用課（03-6744-2126）

花粉削減・グリーン成長総合対策のうち

# 「新しい林業」の経営モデルの構築

【令和６年度予算概算要求額　22,150（16,143）百万円の内数】

**＜対策のポイント＞**

エリートツリー等の**新たな技術の導入により、**伐採から再造林・保育に至る収支がプラスとなる**「新しい林業」の経営モデルの構築**を支援するとともに、国有林において**生産・造林の効率化技術等の実証**を行います。

**＜政策目標＞**

主伐の林業生産性向上（５割向上［令和12年まで］）

## ＜事業の内容＞

### １．経営モデル実証事業

民間団体等が、研究機関などの支援機関と共同した実証事業を行う林業経営体を選定した上で、これらの者が新たな技術の導入により、**森林調査から素材生産・流通、再造林に至るまで収支がプラスとなる取組を行うのに必要な経費**を支援します。

### ２．国有林活用型生産・造林モデル実証事業

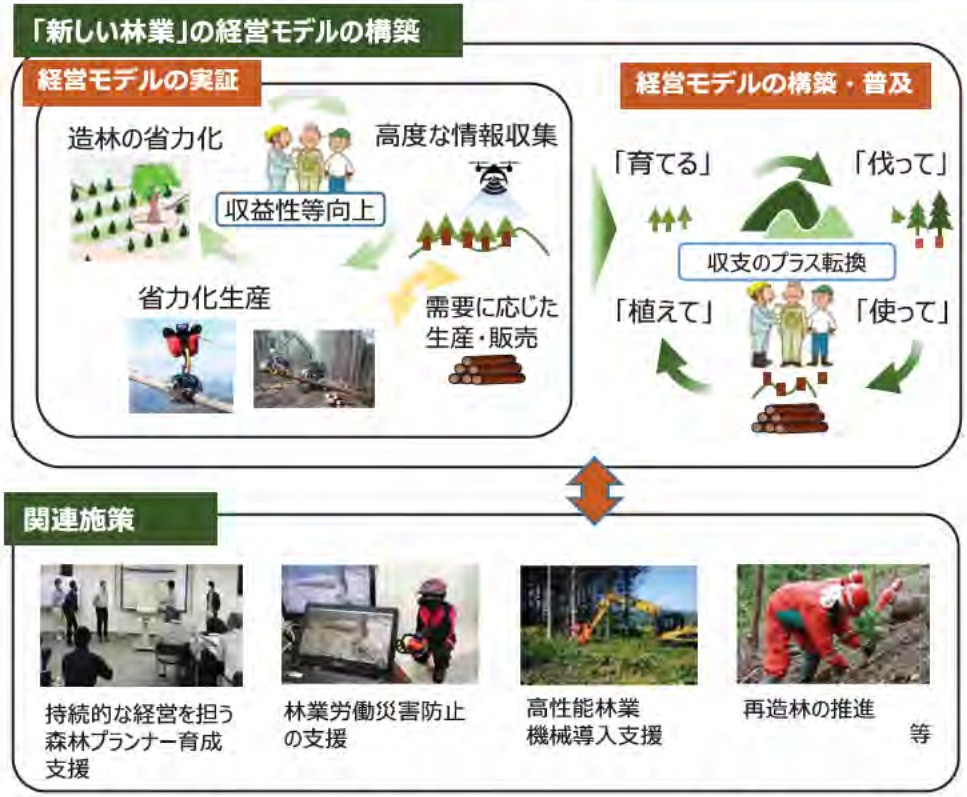
国有林において、新たな**生産・造林の効率化技術等の実証**を行います。

**＜事業の流れ＞**

国 →（定額）→ 民間団体等 →（定額、2/3、2/9）→ 林業経営体等（１の事業）

※　２の事業は、国有林において直轄で実施

## ＜事業イメージ＞




［お問い合わせ先］（１の事業）林野庁経営課（03-3502-1629）
（２の事業）　業務課（03-6744-2326）

花粉削減・グリーン成長総合対策のうち

# 意欲と能力のある経営者への融資の円滑化【令和６年度予算概算要求額　22,150（16,143）百万円の内数】

**＜対策のポイント＞**
**意欲と能力のある林業経営者が行う機械導入・施設整備に対する融資の円滑化を支援**します。

**＜事業目標＞**
○国産材の供給・利用量の増加（34百万m³［令和３年］→ 42百万m³［令和12年まで］）
○スギ花粉の発生量の削減（令和２年度比　約２割削減［令和15年度まで］、５割削減［令和35年度まで］）

## ＜事業の内容＞

**1．林業施設整備等利子助成事業**

**意欲と能力のある林業経営者や自然災害の被害を受けた林業経営者**が（株）日本政策金融公庫から資金を借り入れる場合等の利子について、**最大２%・最長10年間助成**します(**実質無利子化**)。

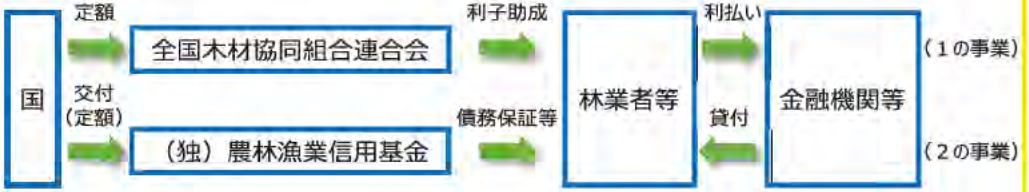
**2．林業信用保証事業**

林業者等に対する**融資の円滑化**を図るため、（独）農林漁業信用基金に対し、以下の経費を支援します。

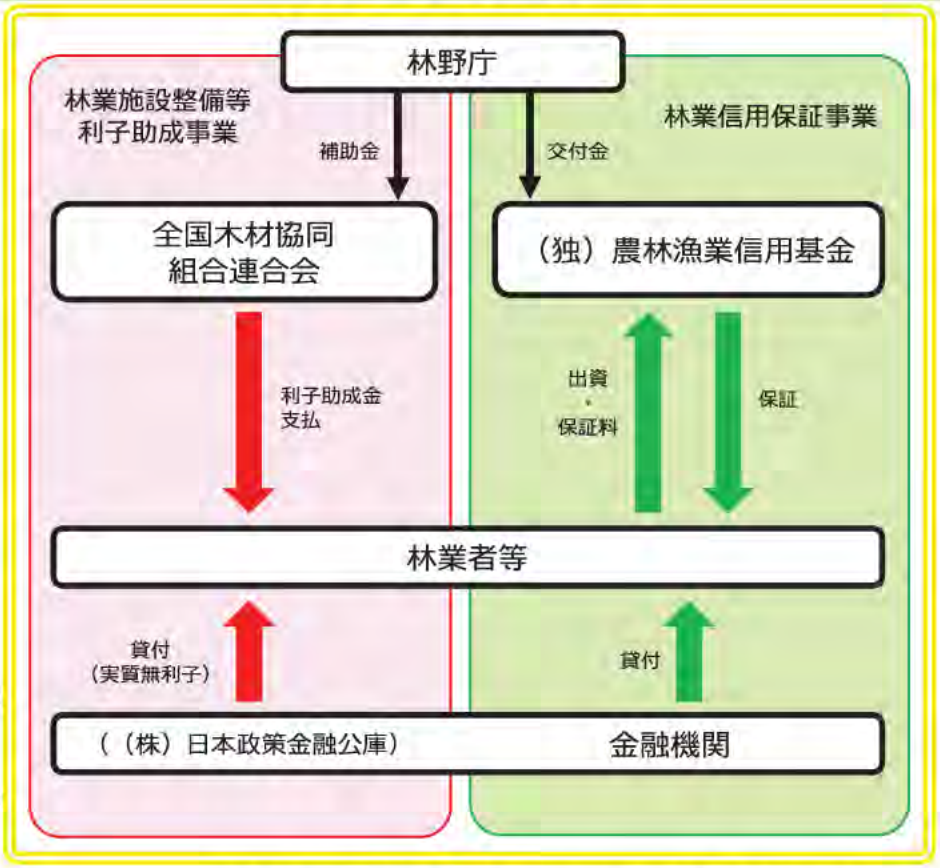
① **林業者等が事業承継・創業、花粉症対策、重大な災害からの復旧に取り組む際に必要な資金の借入れ**に係る**保証料を免除**するために必要な経費
② **保証料率を軽減し、信用基金の財務基盤等**を維持するために必要な経費

等

**＜事業の流れ＞**




## ＜事業イメージ＞




［お問い合わせ先］林野庁企画課（03-3502-8037）

花粉削減・グリーン成長総合対策のうち

# 山村の活性化

【令和６年度予算概算要求額　22,150（16,143）百万円の内数】

<対策のポイント>

**里山林の継続的な保全管理や利用、スギ人工林の樹種転換等の協働活動、国民の幅広い参画による森林づくり、新たな森林空間利用の創出に向けた取組の実施や環境整備**、森林整備を通じて**「山の炭素吸収」を拡大する自治体の取組を企業等が応援する仕組みの整備**や**森林由来J-クレジットの創出・活用**に向けた取組を推進します。

<事業目標>

○ 地域外からの活動参加者数（関係人口を含めた活動への参加者数）が増加した活動組織の割合を毎年度増加
○ 国民参加による植樹の推進（１億本［令和12年度まで］）
○ 新たな森林空間利用に関心のある企業等　（382企業等［令和４年度末時点］→ 610企業等［令和８年度まで］）
○ 森林管理プロジェクトのクレジット認証量の拡大（12.9万CO2t［令和４年度まで］→ 120万CO2t [令和12年度まで]）

## <事業の内容>

**1．森林・山村多面的機能発揮対策**

**地域住民や地域外関係者等による活動組織が実施する森林の保全管理、スギ人工林の樹種転換、森林資源の活用を図る取組等を支援**します。

**2．国民参加の植樹等の推進**

**全国植樹祭等の全国規模の緑化行事の開催**や、 森林づくりに参画を希望する**企業等と植栽場所のコーディネートを行うサポート体制構築等を支援**します。

**3．新たな森林空間利用創出対策**

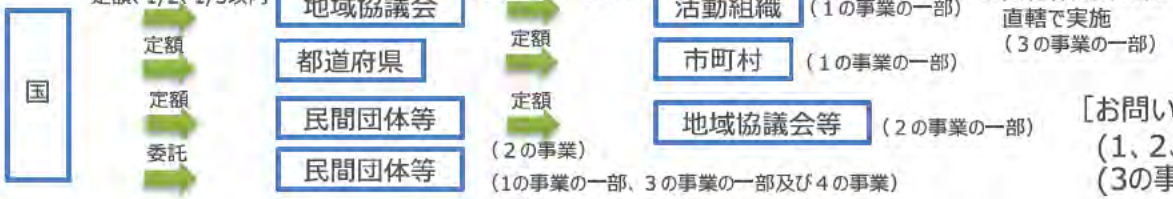
健康づくりに関心がある**企業等に対する森林空間利用のニーズ調査やマッチング機会創出**、**「日本美しの森 お薦め国有林」の観光利用を推進するための環境整備等を実施**します。

**4．山の炭素吸収応援プロジェクト**

**企業等との連携による「山の炭素吸収」拡大に向けた取組応援サイトの整備**や、森林由来J-クレジットの**創出拡大に向けた技術的助言**、需要側への**普及啓発等の取組を実施**します。

## <事業イメージ>

<事業の流れ>




※国有林においては直轄で実施（３の事業の一部）

**都市部の企業や国民の山村地域への関わり増加（関係人口や投資の増大）**

**森林の多面的機能の発揮、山村集落の維持活性化**


［お問い合わせ先］
（1、2、3(一部)、4の事業）林野庁森林利用課（03-3502-0048）
（3の事業の一部）　林野庁経営企画課（03-6744-2321）

# 森林整備事業＜公共＞

**【令和６年度予算概算要求額　150,002（125,249）百万円】**

**＜対策のポイント＞**

花粉発生源対策として**スギ人工林の伐採・植替え等を推進**するとともに、森林吸収源の機能強化・国土強靱化に向けて、**間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等**を着実に推進します。

**＜事業目標＞**

○ 森林吸収量の確保に向けた間伐の実施（45万ha［令和３年度から令和12年度までの10年間の年平均］）
○ スギ花粉の発生量の削減（令和２年度比　約２割削減［令和15年度まで］、５割削減［令和35年度まで］）

## ＜事業の内容＞

### １．間伐や再造林、路網整備等

① 花粉発生源対策として**スギ人工林の伐採・植替え等を推進**するとともに、**間伐や再造林等の省力化・低コスト化を進**めます。

② **林業適地**等における**林道の開設・改良等を支援**します。

③ 林道整備と併せて行う**幅員が狭い農道の一体的な改良**や、**情報通信施設等の整備**を支援します。

### ２．豪雨・台風等による被害を受けた森林等の整備、林道の強靱化

① 豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林、**重要インフラ施設周辺の森林**等について、**公的主体による復旧・整備**を推進します。

② 防災上重要な**幹線林道の開設・改良や林道施設の老朽化対策**を支援し、林道の強靱化を推進します。

**＜事業の流れ＞**

国 →（1/2、3/10等）→ 都道府県、市町村、森林所有者等（１、２の事業）

国 →（定額）→ 国立研究開発法人森林研究・整備機構（２の事業の一部）

※　国有林においては、直轄で実施

## ＜事業イメージ＞

［お問い合わせ先］林野庁整備課（03-6744-2303）

# 治山事業＜公共＞

**【令和６年度予算概算要求額　74,602（62,291）百万円】**

**＜対策のポイント＞**

豪雨や地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、**流木対策**や**機能強化対策の充実**など、**多様化する災害に対応した治山対策**を図るとともに、**流域治水との連携拡大**や**生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）等の強化**により、**国土強靱化に向けた取組を推進**します。

**＜事業目標＞**

周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の増加

## ＜事業の内容＞

**1．多様化する災害に対応した治山対策の推進**

① 流木災害の頻発・多様化を踏まえ、**各事業で実施可能な流木対策メニューを充実し対応力を強化**することにより、被害の防止・軽減を図ります。

② レーザ計測等を活用した調査と工事を一体的に行う**山地災害重点地域総合対策事業において、山地災害危険地区の点検も可能**にし、効率的な対策を推進します。

③ 災害の広域化や復旧期間の長期化等を踏まえ、**災害復旧事業に引き続き実施する事業の実施期間の設定条件を見直し**ます。

このほか、農山漁村地域整備交付金において、

④ 局地的な大雪の発生や被害が懸念される中、**林地荒廃防止事業の対象地域に豪雪地帯を追加し、積雪地域の治山対策を強化**します。

⑤ 学校や病院等の**公共施設を保全する治山施設の機能強化対策を強化**します。

**2．生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）等の強化**

① 流域保全総合治山事業において、**流域治水との連携拡大に資する2級水系に対応した要件**や森林の循環利用に資する**木材利用を必須とする要件を追加**します。

② 海岸防災林の機能の適切な発現・強化のため、防災林造成事業において、**生育基盤盛土の整備が対象であることを明確化**します。

※ このほか、治山事業におけるICT化を推進するとともに事業実施主体の事務負担を軽減するため、**ICT施工の導入に伴う設計書の変更協議を簡素化**します。

**＜事業の流れ＞**

国 → 1/2等 → 都道府県

※　国有林や民有林のうち大規模な山腹崩壊地等においては、直轄で実施

## ＜事業イメージ＞

**○多様化する災害に対応した治山対策の推進**

頻発・多様化する流木災害

機能強化対策の強化

積雪地域の治山対策の強化

**○生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）等の強化**

２級水系への流域治水の連携拡大とEco-DRRの強化

［お問い合わせ先］林野庁治山課（03-6744-2308）

# 農山漁村地域整備交付金＜公共＞

【令和６年度予算概算要求額　92,091（77,390）百万円】

**＜対策のポイント＞**
**地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策を支援**します。

**＜事業目標＞**
○　全農地面積に占める担い手が利用する面積の割合の増加（８割）※令和６年度以降の政策目標については、今後検討
○　木材供給が可能となる育成林の資源量の増加
○　ゼロメートル地帯等における海岸堤防等の津波・高潮対策の実施率（64%［令和７年度まで］）

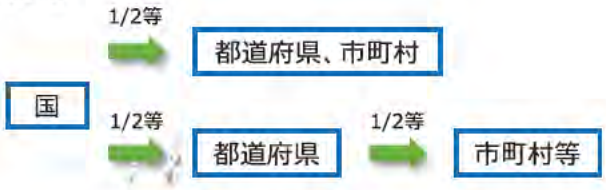
## ＜事業の内容＞

**１．都道府県又は市町村**は、地域の実情に応じて農山漁村地域整備の目標等を記載した**農山漁村地域整備計画を策定**し、これに基づき事業を実施します。

**２．**農業農村、森林、水産の各分野において、農山漁村地域の**生産現場の強化や防災力の向上のための事業を選択して実施**することができます。
①　農業農村分野：農地整備、農業用用排水施設整備、海岸保全施設整備等
②　森　林　分　野：予防治山、路網整備等
③　水　産　分　野：漁港漁場整備、漁村環境整備、海岸保全施設整備等
※　このほか、盛土による災害の防止に向けた緊急的な対策等を支援します。

**３．都道府県又は市町村**は、**自らの裁量により地区ごとに交付金の配分**が可能です。
また、都道府県の裁量で地区間の融通が可能です。

**＜事業の流れ＞**




## ＜事業イメージ＞

交付金を活用した事業例

【農業農村基盤整備】

ほ場整備による農業生産性の向上と秩序ある土地利用の推進

老朽化した用水路の整備・更新

【水産基盤整備】

漁業作業の効率化と安全対策のための漁港整備（岸壁改良）

漁村における津波避難対策（避難施設、避難経路の整備）

【森林基盤整備】

林道等の整備により効率的な間伐材等の搬出を実現

治山施設による山地災害の未然防止

【海岸保全施設整備】

津波、高潮による被害を未然に防ぐため海岸堤防の整備を推進

津波・高潮対策としての水門整備

（共通）切迫する南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の発生を見据えた防災インフラ整備

［お問い合わせ先］
（農業農村分野）農村振興局地域整備課（03-6744-2200）
（森林分野）林野庁計画課（03-3501-3842）
（水産分野）水産庁防災漁村課（03-6744-2392）

# 令和６年度　森林研究・整備機構関係予算概算要求　総括表

総合調整室

| 区分 | 内容 | 金額（千円） | 備考 |
|---|---|---|---|
| 花粉の少ない苗木の生産拡大 | 原種増産施設等整備 | 465,000 | 林木育種センター |
| | 細胞増殖技術を用いた苗木大量増産技術の開発 | 30,000 | 森林総合研究所 |
| 国立研究開発法人森林研究・整備機構研究・育種勘定運営費交付金 | | 11,094,335 | 森林総合研究所・林木育種センター |
| 国立研究開発法人森林研究・整備機構施設整備費補助金 | | 313,739 | 森林総合研究所・林木育種センター |
| 森林整備事業（公共） | 水源林造成事業 | 27,649,000 | 森林整備センター |
| 森林整備事業（公共）【復興対策】 | 水源林造成事業 | 182,000 | 〃 |
| 幹線林道事業移行円滑化対策交付金 | | 55,821 | 〃 |
| 放射性物質対処型森林・林業再生総合対策事業 | | 33,086 | 〃 |
| 計 | | 39,822,981 | |

うち、495,000千円

花粉削減・グリーン成長総合対策のうち

【令和６年度予算概算要求額 22,150,000（16,142,891）千円の内数】

# 花粉の少ない森林への転換促進対策（新規）（新たな花粉症対策の展開）

**＜対策のポイント＞**

**スギ人工林の伐採・植替え等の加速化**や**スギ材の需要拡大**、**花粉の少ない苗木の生産拡大**、**林業の生産性向上及び労働力の確保**、**花粉の飛散量の予測**、**花粉飛散防止剤の早期実用化**への支援等を一体的に実施する総合的な花粉症対策を進めます。

**＜事業目標＞**

○ スギ苗木の年間生産量に占める花粉の少ない苗木の割合の増加 （約５割［令和３年度］ → ９割以上［令和15年度まで］）

○ スギ花粉の発生量の削減（令和２年度比 約２割削減［令和15年度まで］、約５割削減［令和35年度まで］）

## ＜事業の内容＞

**1．スギ人工林の伐採・植替え等の加速化**

花粉の少ない苗木への伐採・植替えに係る**森林所有者への普及啓発の実施**・**協力金**の交付、伐採・植替えに寄与する路網整備や伐採・植替えの**一貫作業**の導入等を支援します。

**2．スギ材の需要拡大**

横架材のスギ材への置換えに資する**集成材工場の整備**、**建築事業者によるスギ材の利用**、**スギ材の需要拡大**に向けた**国民運動**を促進する取組等を支援します。

**3．花粉の少ない苗木の生産拡大**

**官民を挙げた苗木増産体制の強化**、**細胞増殖技術**を活用した**苗木大量増産技術**の開発、花粉の少ない苗木の**広域流通**等を支援します。

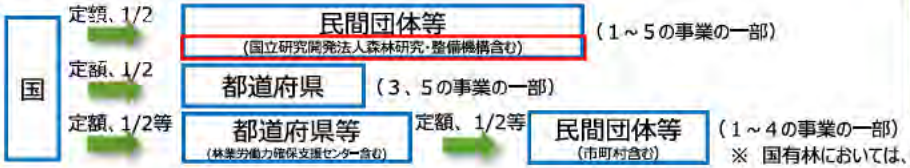
**4．林業の生産性向上及び労働力の確保**

**木材加工業者**による**高性能林業機械の導入**による**生産性向上**や、農業等**他産業との連携や外国人材の新規就業者の育成・確保**、**伐採や造林への新規参入**等を支援します。

**5．花粉飛散量の予測・飛散防止**

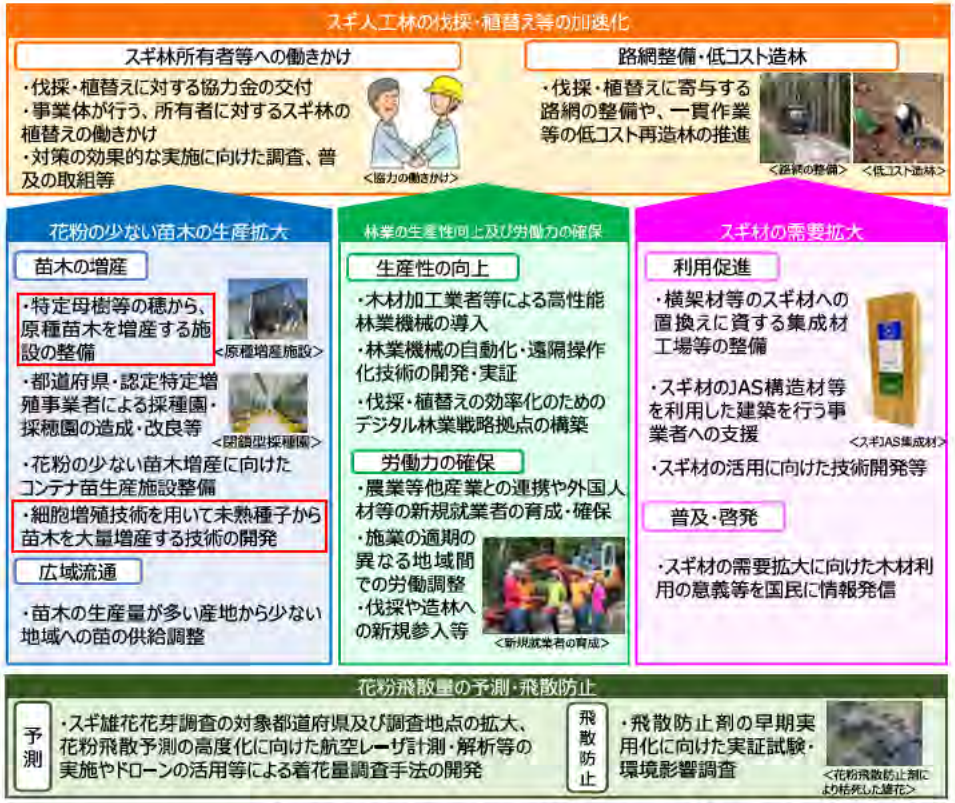
**花粉飛散予測に資するスギ雄花花芽調査**や手法の開発、航空レーザ計測・解析の実施、**花粉飛散防止剤の空中散布技術**の確立等を支援します。

**＜事業の流れ＞**




※ 国有林においては、直轄で実施

## ＜事業イメージ＞




［お問い合わせ先］林野庁計画課（03-6744-2082）

花粉削減・グリーン成長総合対策のうち花粉の少ない森林への転換促進対策のうち

うち、495,000千円

# 花粉の少ない苗木の生産拡大

【令和６年度予算概算要求額　22,150,000（16,142,891）千円の内数】

**＜対策のポイント＞**

花粉の少ない苗木の生産拡大に向けて、**原種苗木の増産施設、種子を増産するための採種園**や**苗木を増産するためのコンテナ苗生産施設の整備等**官民を挙げた苗木増産体制の強化に加え、細胞増殖技術を活用した苗木大量増産技術の開発及び花粉の少ない苗木の生産技術向上等を支援します。

**＜事業目標＞**

○　スギ苗木の年間生産量に占める花粉の少ない苗木の割合の増加　（約５割［令和３年度］　→　９割以上［令和15年度まで］）

## ＜事業の内容＞

**【原種苗木の増産】**

**①原種増産施設等整備【新規】**　（育種センター）465,000千円

都道府県等による採種園・採穂園等の整備に要する原種苗木を増産するため、（国研）森林研究・整備機構による原種増産施設等の整備を支援します。

**【種穂の増産】**

**③採種園等の造成・改良等【拡充】**

花粉の少ない苗木を生産するための種穂を増産するため、都道府県・認定特定増殖事業者による採種園・採穂園の造成・改良等を支援します。

**④採種園等管理技術者育成・確保支援【新規】**

採種園・採穂園を管理する技術者を育成・確保するため、管理技術者の研修費や人件費等を支援します。

**⑤採種園等の有効活用（国有林）【拡充】**

花粉の少ない苗木を生産するための種穂の安定供給を推進するため、利用されなくなった国有林の採種園・採穂園の造成・改良等を実施します。

**【苗木の増産】**

**⑧花粉の少ない苗木増産施設の整備【拡充】**

花粉の少ない苗木の生産を拡大するため、苗木生産事業者による苗木増産施設の整備を苗木の生産力に応じて支援します。

**⑨増産苗木広域流通等支援【新規】**

需要変動による余剰苗が生じた際の供給調整のため、苗木の広域流通や供給先送りによる大苗化への支援や需給協議会の運営を支援します。

**【新技術の開発】**

**⑪細胞増殖技術を用いた苗木大量増産技術の開発【新規】**（研究所）30,000千円

細胞増殖技術を用いて、スギの未熟種子から効率的に苗木を大量生産する技術の開発を支援します。

その他組替事業として**②エリートツリー等の原種増産技術の開発等、⑥花粉の少ない苗木の円滑な生産支援、⑦指定採取源の拡大、⑩苗木生産技術の向上等**を支援します。

## ＜事業イメージ＞

［お問い合わせ先］　（⑥の事業）　林野庁森林利用課（03-3501-3845）
（⑦、⑧、⑨、⑩の事業）　整備課　（03-3502-8065）
（①、②、③、④、⑪の事業）　研究指導課（03-6744-2312）
（⑤の事業）　業務課　（03-6744-2325）

# 国立研究開発法人森林研究・整備機構　研究・育種勘定運営費交付金（継続）

**【令和６年度予算概算要求額　11,094,335（10,200,430）千円】**

**＜対策のポイント＞**

**森林・林業に係る試験・研究や林木の優良な種苗の生産・配布等**を行うことにより、森林の多面的機能の発揮や林業技術の向上を図ります。

**＜事業目標＞**

○　森林及び林業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業を着実に推進。
○　国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標の達成。

## ＜事業の内容＞

○　（国研）森林研究・整備機構は、**森林及び林業に関する総合的な試験・研究等**を行うことにより、森林の保続培養を図るとともに、林業に関する技術の向上に寄与し、もって**林業の振興と森林の有する公益的機能の維持増進に資する**ことを目的として設置されています。

○　（国研）森林研究・整備機構の**第５期中長期目標を達成するため、森林・林業分野における行政課題に対応**した**試験研究を実施**します。

**＜事業の流れ＞**

国　→（交付（定額））→　国立研究開発法人森林研究・整備機構

## ＜事業イメージ＞

森林研究・整備機構の試験・研究課題（第５期中長期目標）と取組事例

**(1) 環境変動下での森林の多面的機能の発揮に向けた研究開発**

降雨遮断による土壌乾燥実験

山地災害リスクの低減機能評価

保残伐（群状保残区）

**(2) 森林資源の活用による循環型社会の実現と山村振興に資する研究開発**

コンテナ苗の植え付け

国産トリュフ

木造高層ビル

エリートツリー（植栽後4年：樹高6m）

**(3) 多様な森林の造成・保全と持続的資源利用に貢献する林木育種**

用土不要の発根技術開発

環境制御による育成期間短縮

［お問い合わせ先］林野庁研究指導課（03-6744-2312）

# 国立研究開発法人森林研究・整備機構　施設整備費補助金（継続）

**【令和６年度予算概算要求額　313,739（313,739）千円】**

**＜対策のポイント＞**

**森林・林業に係る試験・研究や林木の優良な種苗の生産・配布等に必要な施設の改善等**を行うことにより、これらの業務の円滑な実施を図ります。

**＜事業目標＞**

○　森林及び林業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業を着実に推進。

○　国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標の達成。

## ＜事業の内容＞

（国研）森林研究・整備機構の業務の適切かつ効率的な実施及び職員の安全の確保のため、**中長期計画に基づいて業務運営に必要な次の施設の整備**を行います。

○　**エネルギーセンター冷凍機他改修**

森林総合研究所研究本館の空調設備を、冷凍機やボイラ等で構成される従来の中央熱源方式から個別熱源方式へ切り替えることにより、熱エネルギーロスを低減し、光熱費の削減等を図ります。

○　**東北支所鳥獣実験室浄化槽更新**

老朽化した東北支所鳥獣実験室浄化槽（単独処理浄化槽）を、「浄化槽法の一部を改正する法律」の規定に基づき、合併処理浄化槽へ更新します。

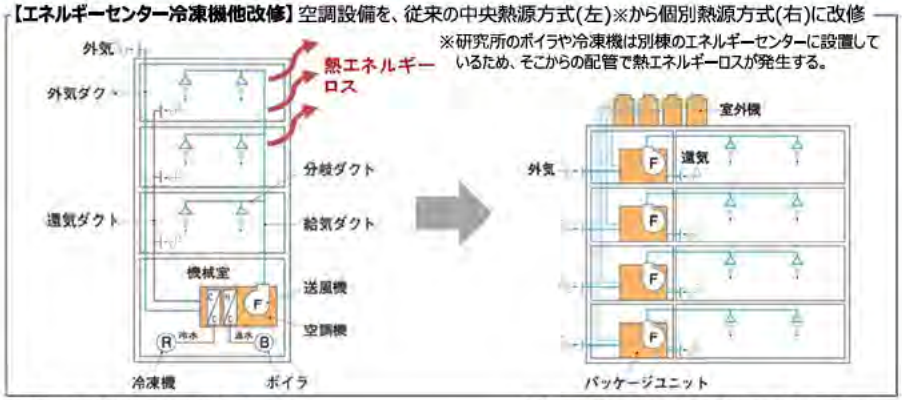
○　**多摩森林科学園森の科学館外壁等改修**

経年による老朽化が著しい多摩森林科学園森の科学館において、特に腐朽等の劣化が甚だしい外壁等の改修及び機械換気装置の整備を行います。

**＜事業の流れ＞**

国　→（定額）→　国立研究開発法人森林研究・整備機構

## ＜事業イメージ＞




【東北支所鳥獣実験室浄化槽更新】

老朽化した既存の単独処理浄化槽を、合併処理浄化槽に更新

【多摩森林科学園森の科学館外装等改修】

［お問い合わせ先］林野庁研究指導課（03-6744-2312）

# 令和６年度　森林整備事業予算概算要求（民有林）総括表　【公共】

1．一般会計　（単位：百万円）

| 事　項 | 令和5年度当初予算 a | 令和6年度概算要求予算 b | 対前年度比 b/a |
|---|---|---|---|
| 森林整備事業（民有林） | 58,508 | 76,649 | 131.0% |
| 民有林補助事業 | 33,235 | 49,000 | 147.4% |
| 森林整備事業調査等 | 267 | 367 | 137.5% |
| 森林環境保全整備事業 | 31,851 | 47,407 | 148.8% |
| 森林環境保全直接支援事業 | 23,813 | 34,928 | 146.7% |
| 特定森林再生事業 | 2,061 | ー | ー |
| 特定機能回復事業 | ー | 3,427 | ー |
| 森林資源循環利用林道整備事業 | 2,999 | ー | ー |
| 山村強靱化林道整備整備事業 | 2,295 | ー | ー |
| 林業専用道整備事業 | 541 | ー | ー |
| 林道整備事業 | ー | 8,690 | ー |
| 林道施設PCB廃棄物処理促進対策事業 | 142 | 362 | 254.9% |
| 後進地域補助率差額 | 313 | 306 | 97.8% |
| 美しい森林づくり基盤整備交付金 | 804 | 920 | 114.4% |
| 水源林造成事業 | 25,273 | 27,649 | 109.4% |
| 災害復旧等 | 2,444 | 2,444 | 100.0% |

2．復興特別会計（東日本大震災における復興対策に係る経費）　（単位：百万円）

| 事　項 | 令和5年度当初予算 a | 令和6年度概算要求予算 b | 対前年度比 b/a |
|---|---|---|---|
| 森林整備事業（民有林） | 2,572 | 2,269 | 88.2% |
| 民有林補助事業 | 2,378 | 2,087 | 87.8% |
| 森林環境保全整備事業 | 2,378 | 2,087 | 87.8% |
| 森林環境保全直接支援事業 | 1,843 | 1,560 | 84.6% |
| 林業専用道整備事業 | 535 | ー | ー |
| 林道整備事業 | ー | 527 | ー |
| 水源林造成事業 | 194 | 182 | 93.8% |

注1：上記のほか、農林水産省計上の農山漁村地域整備交付金、内閣府計上の地方創生道整備交付金がある。
注2：単位未満の四捨五入により、総数と内訳の計が一致しない場合がある。

# 森林整備事業＜公共＞

うち、27,649（25,273）百万円

**【令和６年度予算概算要求額　150,002（125,249）百万円】**

**＜対策のポイント＞**

花粉発生源対策として**スギ人工林の伐採・植替え等を推進**するとともに、森林吸収源の機能強化・国土強靱化に向けて、**間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等**を着実に推進します。

**＜事業目標＞**

○ 森林吸収量の確保に向けた間伐の実施（45万ha［令和３年度から令和12年度までの10年間の年平均］）
○ スギ花粉の発生量の削減（令和２年度比　約２割削減［令和15年度まで］、５割削減［令和35年度まで］）

## ＜事業の内容＞

### １．間伐や再造林、路網整備等

① 花粉発生源対策として**スギ人工林の伐採・植替え等を推進**するとともに、**間伐や再造林等の省力化・低コスト化を進**めます。

② **林業適地**等における**林道の開設・改良等を支援**します。

③ 林道整備と併せて行う**幅員が狭い農道の一体的な改良**や、**情報通信施設等の整備**を支援します。

### ２．豪雨・台風等による被害を受けた森林等の整備、林道の強靱化

① 豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林、**重要インフラ施設周辺の森林**等について、**公的主体による復旧・整備**を推進します。

② 防災上重要な**幹線林道の開設・改良や林道施設の老朽化対策**を支援し、林道の強靱化を推進します。

**＜事業の流れ＞**

国 → 1/2、3/10等 → 都道府県、市町村、森林所有者等（１、２の事業）

国 → 定額 → 国立研究開発法人森林研究・整備機構（２の事業の一部）

※　国有林においては、直轄で実施

## ＜事業イメージ＞

### 間伐や再造林、路網整備等

### 豪雨・台風等による被害を受けた森林等の整備、林道の強靱化

［お問い合わせ先］林野庁整備課（03-6744-2303）

うち、182（194）百万円

# 森林整備事業（公共）【復興対策】

【令和６年度予算概算要求額　3,991（4,413）百万円】

**＜対策のポイント＞**

放射性物質の影響を受けた地域における森林・林業の再生に向け、**放射性物質を含む土砂の流出防止を図るための間伐・路網整備等を推進**します。

**＜政策目標＞**

土壌を保持する能力等が良好に保たれている森林の割合の増加

## ＜事業の内容＞

### 1．災害に強い森林づくり

特用林産物の出荷制限地域を含む市町村において、森林所有者等が行う**放射性物質対策と一体となった間伐・路網整備等を推進**します(**災害に強い森林づくりでは、林業専用道の開設等**が実施できます）。

特に、避難指示区域が解除された市町村を中心に効率的な路網計画策定のための航空レーザ計測や路網の開設等を重点的に実施します。

### 2．汚染状況重点調査地域等森林整備事業（公的主体による間伐等）

汚染状況重点調査地域等において、放射性物質の影響等で所有者自らでは整備が進めがたい森林について、**県・市町村の公的主体による間伐・路網整備等を推進**します（ふくしま森林再生事業は本事業を活用して実施します）。

**＜事業の流れ＞**

国 → 50/100,3/10等 → 福島県 市町村、森林所有者等

国 → 定額 → 国立研究開発法人森林研究・整備機構

※このほか国有林における直轄事業を実施

## ＜事業イメージ＞

［お問い合わせ先］林野庁整備課（03-6744-2303）

【非公共】

# 令和６年度　非公共予算概算要求総括表

1．一般会計　　（単位：千円）

| 事　　項 | 令和5年度<br>当初予算<br>a | 令和6年度<br>概算要求予算<br>b | 対前年度比<br>b/a |
|---|---|---|---|
| 花粉削減・グリーン成長総合対策 | 16,142,891 | 22,150,000 | 137.2% |
| 分収林等施業転換推進事業 | 62,100 | 62,100 | 100.0% |
| 幹線林道事業移行円滑化対策交付金 | 57,801 | 55,821 | 96.6% |
| 特定母樹林保存損失補償金 | 9,449 | 9,353 | 99.0% |

2．復興特別会計　　（単位：千円）

| 事　　項 | 令和5年度<br>当初予算<br>a | 令和6年度<br>概算要求予算<br>b | 対前年度比<br>b/a |
|---|---|---|---|
| 放射性物質対処型森林・林業再生総合対策<br>（研究指導課、業務課関連予算） | 3,734,485 | 3,694,109 | 98.9% |
| | うち、33,086 | 33,086 | 100.0% |

# 幹線林道事業移行円滑化対策交付金（継続）

【令和６年度予算概算要求額　55,821（ 57,801）千円】

**＜対策のポイント＞**

平成20年４月１日に緑資源機構が解散し、緑資源幹線林道事業も廃止したことに伴い、業務を承継した国立研究開発法人森林研究・整備機構において既設幹線林道に係る賦課金等の徴収、借入金の償還を円滑に進める必要があります。

**＜事業目標＞**

既設幹線林道に係る賦課金等の円滑な徴収、借入金の償還

## ＜事業の内容＞

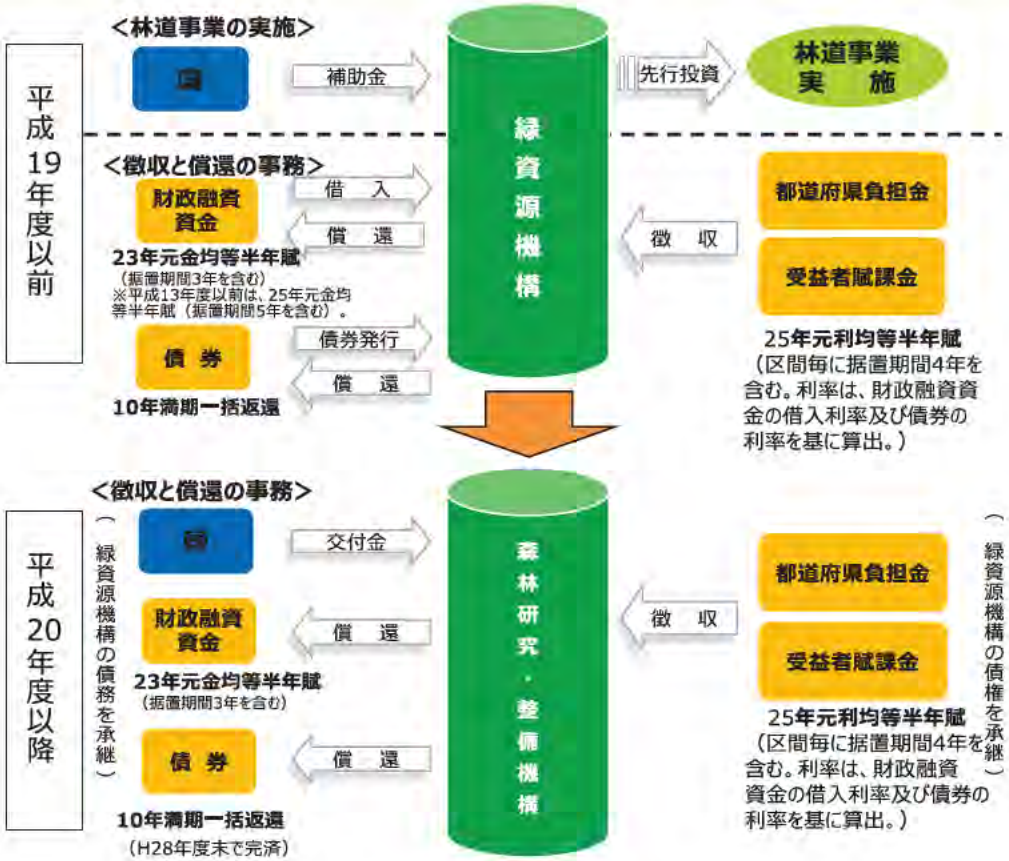
**○　賦課金等の徴収のための事務費**

国立研究開発法人森林研究・整備機構における既設幹線林道に係る賦課金・負担金の徴収に係る事務費を措置します。

**＜事業の流れ＞**

国 → 交付（定額） → 国立研究開発法人 森林研究・整備機構

## ＜事業イメージ＞




［お問い合わせ先］林野庁整備課（03-3581-1032）

# 放射性物質対処型森林・林業再生総合対策事業（継続）

うち、33,086（33,086）千円

【令和６年度予算概算要求額　3,694,109（3,734,485）千円】

**＜対策のポイント＞**

被災地の森林・林業の再生を図るため、**森林内における放射性物質の実態の把握、ほだ木等原木林再生のための実証、森林整備の実施に際して必要な放射線量の概況調査、放射性物質の移動抑制対策等**を実施します。

**＜事業目標＞**

森林・林業の再生を通じた被災地の復興

## ＜事業の内容＞

### １．森林内における放射性物質の実態把握　　171,096（171,096）千円

○　森林内の放射性物質による汚染実態等を把握するため、**樹冠部から土壌中まで階層ごとの放射性物質の分布状況等の調査・解析**を実施します。

### ２．森林・林業再生に向けた実証等　　2,144,632（1,551,006）千円

**①　避難指示解除区域等における実証**

避難指示解除区域等において、地域住民の帰還と**林業の再生を円滑に進められるよう、森林施業が放射性物質の動態に与える影響等の検証や実証事業**を実施します。

**②　ほだ木等原木林再生のための実証**

放射性物質の影響を受けている**里山・広葉樹林の計画的な再生に向けた実証的な取組**を実施します（「里山・広葉樹林再生プロジェクト」は本事業を活用して実施します）。

**③　情報の収集・整理と情報発信等**

森林・林業の再生に向けた**情報の収集・整理と情報発信等**を実施します。

## ＜事業イメージ＞

## ＜事業の内容＞

### 3．放射性物質対処型林業再生対策　　1,378,381（2,012,383）千円

**① 森林整備の実施に必要な放射性物質対策**

事業地を選定するための汚染状況重点調査地域等の**森林の放射線量等の概況調査**、作業計画の検討を行うための**事業対象森林の調査、森林所有者等への説明・同意取付等**を実施します。

また、**放射性物質の移動抑制のための筋工の施工等、森林整備を実施する際に必要な放射性物質対策**を実施します（「ふくしま森林再生事業」は本事業を活用して実施します）。

**② 里山再生事業**

住居周辺の里山において、住民の安全・安心の確保に資するため、**環境省・復興庁による除染・線量測定の取組と連携して森林整備**を実施します。

## ＜事業イメージ＞

**3． 放射性物質対処型林業再生対策**

**①森林整備の実施に必要な放射性物質対策**

放射線量等の概況調査等

関係者の同意取付

移動抑制対策(筋工)

**②里山再生事業**

自然観察園（スギ、アカマツ等の間伐）

**＜事業の流れ＞**

国 → 委託 → 民間団体等（１の事業）
国 → 定額 → 県（１の事業）

国 → 委託 → 民間団体等（２の①、②、③の事業）
国 → 定額 → 都県（２の①、②の事業）
国 → 定額 → 都県 → 定額 → 市町村、民間団体等（２の②の事業）

※一部は国有林による直轄事業

国 → 委託 → 民間団体等（３の②の事業）
国 → 定額 → 県、（国研）森林研究・整備機構（３の①の事業）
国 → 定額 → 県 → 定額 → 市町村等（３の①の事業）

※３①の一部は国有林による直轄事業

［お問い合わせ先］林野庁研究指導課（03-6744-9530）
業務課　（03-3503-2038）

# 第46回 いばらき2023 全国育樹祭

## 誰かじゃない　僕が育てる　緑の日本

**開催日**

**令和５年（２０２３年）**
**11月11日（土）・12日（日）**

### お手入れ行事：11日（土）午後

平成17年（2005年）に開催された、第56回全国植樹祭で天皇皇后両陛下（現在の上皇上皇后両陛下）がお手植えになられた樹木を皇族殿下がお手入れされるという育樹の実践を通して「継続して森を守り育てることの大切さ」を全国に広めます。

- 会　場　茨城県水郷県民の森（潮来市島須）
- 参加者　200人

▲お手入れ行事会場　俯瞰図

### 式 典 行 事：12日（日）午前

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、おことばを賜るほか、各種表彰や、俳優の羽田美智子さんらが出演するアトラクションなどを行います。アトラクションでは、「FOREST WORK LABO STUDIO」と題したニュースタジオ仕立ての構成で、森林の重要性と、未来に繋がる新しい林業の姿を全国に向けて発信します。

- 会　場　アダストリアみとアリーナ（水戸市緑町）
- 参加者　2,000人

▲式典行事会場　俯瞰図

主な出演者

毛利 衛
（宇宙飛行士）

羽田 美智子
（俳優）

渡部 豪太
（俳優）

石井 竜也
（アーティスト）

詳細は　茨城県　全国育樹祭　検索

主催：茨城県・公益社団法人国土緑化推進機構

全国育樹祭では、お手入れ行事や式典行事だけでなく、県内各地で併催行事や記念行事を開催し、それぞれが異なる視点から森林の重要性や未来に繋がる新しい林業の姿などを全国に向けて発信します。

【大会スケジュール】

| 11月11日(土) | | 11月12日(日) | 13日(月) |
|---|---|---|---|
| お手入れ行事(午後)<br>場所:茨城県水郷県民の森<br>主催:茨城県<br>(公社)国土緑化推進機構 | 懇談会<br>場所:ホテル テラス ザ ガーデン 水戸<br>主催:同左 | 式典行事(午前)<br>場所:アダストリアみとアリーナ<br>主催:同左 | |
| ＜併催＞育林交流集会(午後)<br>場所:大子町文化福祉会館「まいん」<br>主催:茨城県<br>(公社)国土緑化推進機構 | | ＜記念＞森林・林業・環境機械展示実演会(終日)<br>場所:笠松運動公園自由広場等<br>主催:茨城県・(一社)林業機械化協会 | |
| ＜併催＞全国緑の少年団活動発表大会(午後)<br>場所:茨城県鹿行生涯学習センター<br>主催:茨城県<br>(公社)国土緑化推進機構 | 全国緑の少年団活動交流集会<br>(11日午後～12日午前)<br>場所:茨城県立白浜少年自然の家<br>主催:同左 | | |

## 11日(土)午後
### 懇談会
**(場所:ホテル テラス ザ ガーデン 水戸)**

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、大会関係者を招待して、全国育樹祭での各種表彰者に祝意を表す場として懇談会(歓迎レセプション)を開催します。

## 11日(土)午後
### 全国緑の少年団活動発表大会
**(場所:茨城県鹿行生涯学習センター)**

全国から選出された緑の少年団と茨城県内外の緑の少年団が一堂に集い、森林の大切さ、緑を守る活動を知るため、日頃の活動成果や地域の特色ある活動について発表を行います。

また、大会終了後の交流集会ではレクリエーションを通して団員同士の交流を深めます。

## 11日(土)午後
### 育林交流集会
**(場所:大子町文化福祉会館「まいん」)**

茨城県内外の林業関係者、森林(もり)づくり活動に参画する企業、団体、大学、ボランティアや一般参加者など、各界・各層からの幅広い参加者のもとで、森林への関心を高め、森林(もり)づくり活動が拡大する契機となるよう、これからの森林(もり)づくりについて優良事例報告などを行います。

## 12日(土)・13日(月)
### 森林・林業・環境機械展示実演会
**(場所:笠松運動公園自由広場等)**

ハーベスタ、フォワーダ等の高性能林業機械をはじめ、環境保全や安全に資する最新の機械、器具等の展示・実演を行い、その性能を紹介するとともに、森林・林業・環境機械の普及と安全使用の促進を図ります。

(問合せ・連絡先)
**第46回全国育樹祭茨城県実行委員会** (茨城県農林水産部林政課全国育樹祭推進室内)
住所:〒310－8555 茨城県水戸市笠原町978番6 行政棟18階
TEL:029－301－4018 ／ E-mail : ikujusai@pref.ibaraki.lg.jp

令和５年９月理事会資料
国 立 研 究 開 発 法 人
森 林 研 究 ・ 整 備 機 構

# 今後の主な会議・行事予定について

| 日　付 | 研究 | 整備 | 保険 | 行　事　名 | 場　所　等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 9月14日<br>～15日 | ○ | | | 関西地区林業試験研究機関連絡協議会 総会 | 徳島市<br>（出席：関西支所、四国支所） |
| 9月20日<br>～21日 | ○ | | | 令和5年度林業研究・技術開発推進関東・中部ブロック会議 | 農林水産省<br>（主催：林野庁、森林総合研究所） |
| 9月21日 | ○ | | | 令和5年度森林総合研究所四国支所公開講演会「林業座談会　使う、植える、育てる　－持続する林業を目指して－」 | 高知会館（高知市）<br>（主催：四国支所） |
| 9月21日<br>～22日 | ○ | | | 「伐採と再造林の一貫作業システムによるコストの低減」現地検討会 | 岡山県新見市<br>（主催：近畿中国森林管理局、関西支所ほか） |
| 9月26日 | ○ | ○ | ○ | 令和5年度関西地区特定母樹等普及促進会議 | 近畿中国森林管理局<br>（主催：関西育種場） |
| 9月27日 | ○ | | | 令和5年度林業研究・技術開発推進近畿・中国ブロック会議 | 近畿中国森林管理局<br>（主催：林野庁、関西支所） |
| 10月3日 | ○ | | | 令和5年度林業研究・技術開発推進北海道ブロック会議<br>令和5年度北海道地区特定母樹等普及促進会議 | かでる２・７（札幌市）<br>（主催：林野庁、北海道支所）<br>（主催：北海道育種場） |
| 10月5日 | ○ | ○ | ○ | 令和5年度東北地区特定母樹等普及促進会議 | 東北支所<br>（主催：東北育種場） |
| 10月6日 | ○ | | | 令和5年度林業研究・技術開発推進東北ブロック会議 | 東北支所<br>（主催：林野庁、東北支所） |
| 10月11日 | ○ | | | 2023年度森林総合研究所公開講演会「持続可能な豊かな森を築く－資源を提供してくれる森を築くために今必要な事－」 | 一橋大学 一橋講堂（千代田区）<br>（主催：森林総合研究所） |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 10月17日<br>～19日 | ○ | | | 国際研究評議会 | 森林総合研究所（つくば市）<br>（主催：森林総合研究所） |
| 10月21日 | ○ | | | 令和5年度森林総合研究所四国支所一般公開 | 四国支所<br>（主催：四国支所） |
| 10月21日 | ○ | ○ | ○ | 第26回「親林の集い」 | 林木育種センター<br>（主催：林木育種センター） |
| 10月24日<br>～25日 | ○ | | | 令和5年度林業研究・技術開発推進九州ブロック会議 | 九州森林管理局<br>（主催：林野庁、九州支所） |
| 10月25日<br>～26日 | ○ | ○ | ○ | 令和5年度九州地区特定母樹等普及促進会議 | 九州育種場<br>（主催：九州育種場） |
| 10月27日 | ○ | | | 令和5年度林業研究・技術開発推進四国ブロック会議 | 四国支所<br>（主催：林野庁、四国支所） |
| 10月31日 | ○ | | | シンポジウム「森林が主導するネイチャーポジティブ～生物多様性の研究と実践の最前線～」 | オンライン開催（Webex）<br>（主催：森林総合研究所） |

令和５年９月理事会資料
国 立 研 究 開 発 法 人
森 林 研 究 ・ 整 備 機 構

# 主要行事（令和５年８月４日～令和５年９月７日）

| 月　日 | 行 事 内 容 | 出 席 者 |
|---|---|---|
| 8月4日(金) | 【共】理事会(森林整備センター開催) | 理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事 |
| 7日(月) | 庁議 | 理事長 |
| 7日(月)<br>～8日(火) | 【育】関東地区特定母樹等普及促進会議 | 育種事業・森林バイオ担当理事 |
| 9日(水) | 【研】木質バイオマス変換新技術研究棟完成見学会 | 理事長、研究担当理事 |
| 〃 | 【研・育】農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課による視察 | 企画・総務・森林保険担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事 |
| 21日(月)<br>～22日(火) | 【研】九州支所ほか視察 | 企画・総務・森林保険担当理事 |
| 24日(木) | 【研】職務発明委員会 | 理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、法令遵守担当理事 |
| 〃 | 国立研究開発法人協議会コンプライアンス専門部会研究インティグリティTF(web) | 法令遵守担当理事 |
| 28日(月) | 【整】高知県水源林造林協議会　意見交換会 | 森林業務担当理事、法令遵守担当理事 |
| 9月4日(月) | 庁議 | 理事長 |
| 4日(月)<br>～5日(火) | 【整】現地検討会(宮城県) | 森林業務担当理事 |
| 5日(火)<br>～6日(水) | 【育】第7回全苗連生産者の集い(和歌山市) | 育種事業・森林バイオ担当理事 |

※【研】:森林総合研究所、【育】:林木育種センター、【整】:森林整備センター、【保】:森林保険センター、【共】:共通の行事の略

令和５年９月理事会資料
森林研究・整備機構
森林総合研究所

# 森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

## ○ 前月以降公開済の研究成果

| | 広報タイトル | 研究者・担当者名 | 掲載誌名 | 論文公開時期 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | **地表を歩いて生活する甲虫類の保全には広葉樹林の維持・回復が重要** | ｶﾜﾑﾗ ｶｽﾞﾋﾛ<br>河村 和洋<br>野生動物研究領域 | Journal of Forest Research、28(4) | 2023年4月 | |
| 2 | **気候変動の総費用<br>ー生物多様性や人間健康などの非市場価値と2℃目標ー** | ｵｵﾊｼ ﾊﾙｶ<br>大橋 春香<br>生物多様性・気候変動研究拠点 | Environmental Research Letters | 2023年8月 | プレスリリース |
| 3 | **価格が課題、非住宅木造建築物向けの木質構造部材品** | ｸﾎﾞﾔﾏ ﾋﾛｼ<br>久保山 裕史<br>林業経営・政策研究領域 | 林業経済、76巻1号 | 2023年4月 | |
| 4 | **東北地方の離島における南方系マダニ類の確認<br>～南方系マダニ、北方への分布拡大の可能性～** | ｵｶﾍﾞ ｷﾐｺ<br>岡部 貴美子<br>生物多様性・気候変動研究拠点 | Experimental and Applied Acarology | 2023年7月 | プレスリリース |

## ○ 最近のシンポジウム・イベント

| | 名称 | 担当 | 主催等 | 開催場所 | 開催日 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | **「木の酒研究棟完成見学会」を開催しました** | 森林総合研究所<br>企画部広報普及科 | 森林総合研究所 | 森林総合研究所<br>（茨城県つくば市）<br>木質バイオマス変換新技術研究棟 | 8月9日（水）<br>13：30～16:00頃 | |
| 2 | **2023年度森林総合研究所公開講演会「持続可能な豊かな森を築くー資源を提供してくれる森を築くために今必要な事ー」** | 森林総合研究所<br>企画部広報普及科 | 森林総合研究所 | 一橋大学 一橋講堂<br>（東京都千代田区一ツ橋2-1-2学術総合センター2階） | 10月11日（水）<br>13：00～16：40 | |
| 3 | **シンポジウム「森林が主導するネイチャーポジティブ～生物多様性の研究と実践の最前線～」** | 国立研究開発法人<br>森林研究・整備機構<br>森林総合研究所<br>シンポジウム事務局 | 森林総合研究所 | Webexによるオンライン開催 | 第1回<br>10月31日（火）<br>13：00～16：00<br>第2回<br>12月6日（水）<br>13：00～16：00 | |